

長い夏休みも終わってしまいました。今年の夏も暑かった、そして夏期講習も熱かったです。皆さんよく頑張りました。休み中の生活は計画通りに過ごせましたか。時間というものは私たちに公平に与えられていますが、その時間をどう使うかは私たち次第です。この夏、時間を上手にコントロールできた人は、必ず良い結果が待っているでしょう。逆にうまくいかなかった人、反省すべき点は反省して、次に活かせるように気持ちを入れ替えて次へ進もう。さあ、ここからが本番、大事な大事な二期のスタートです。

☆9月の予定☆

9/1 (金)：通常授業開始
 9/8 (金)～14 (木) 塾内テスト
 9/18 (月)：敬老の日：休塾
 9/23 (土)：秋分の日：休塾
 ※9月は英単語、漢字テストです。
 夏休みの間に練習していませんか？その場しのぎで乗り切って終わりではなく、自分のプラスになるように考えて勉強しよう。
 覚えて損する知識などありません。

二期がスタート

2学期の初めには実力テストがあります。夏休みの間に頑張れた人には必ず良い結果が返ってくるはずですが、そうではなかった人は心を入れ替えて二期頑張りましょう。また塾では小学生は漢字・中学生は英単語のテストを行いますので、しっかり練習して良い成績を残そう。

★今村先生のつばやき★

まだまだ暑い日が続きますね、そこで気分だけでも涼しくなれるように地球上で最も寒い場所である南極について調べてみました。日本の常識が通用しない南極の環境は未知の部分がたくさんあります。その中でも気になったところをご紹介します。

○南極大陸は日本の37倍もの面積があり、氷の厚さは2000mから最大4000m—氷の中に富士山もすっぽり入る高さです。

○地球上の淡水の90%が存在する—南極の氷が溶けると地球は沈んでしまいますね。

○氷の下には湖がある—なぜ凍らないのでしょうか。太古の生物が生存している説もあり。

○最低気温は-89.2℃、最大風速90mの極寒の大地—過酷すぎる環境。実は北極より寒い。

○寒すぎてウイルスが存在しないので風邪を引かない—コロナにも感染しない場所です。

○内陸では水蒸気がないので雲がなく雪が降らない—逆に海岸近辺は大雪が降ります。

○南極には白クマはいない—ただし北極にはペンギンがいません、知っていましたか？

○5000m近くの山や火山がある—しかも活火山。なんと温泉もあります。

○世界で唯一国境のない大陸—南極はどこの国にも属していません。ちなみに日本から旅行するには少なくとも200万円はかかるそうです。

どうですか？一般人には謎が多い南極大陸、皆さんも興味があれば調べてみましょう。



ジョージの

気になるお話

キツネは一生朝から晩までひとりぼっちですごす



キツネのメスとオスがいっしょにいるのは、子育てのわずかな期間だけで、その子どももある程度大きくなるとすぐ、ひとりでくらすようになります。キツネは群れを作らず一生をほとんどひとりで過ごします。